



文 武 両 輪

ぶん ぶ りょう りん
～勉強も行事も部活動も～

令和5年10月30日

【文責】校長 蔦川 誠

「長者の結晶」を創り上げた文化祭

10月22日(日)、令和5年度文化祭を開催しました。

今年は4年ぶりに文化祭を来賓や保護者の方々にも御覧いただけることになり、全校生徒が一生懸命に練習・準備してきた成果を来賓や保護者の方々の前で発表できたことは、とてもうれしく幸せなことでした。

今年の文化祭テーマは「共栄～共に魅せろ！ 長者の結晶～」です。今年度がスタートしてから「共栄」のテーマの下、全校生徒が一つになって数々の行事を成功させてきました。テーマにある「共に魅せろ！ 長者の結晶」には、今まで長者中生一人一人が創り上げてきた成果を集め、全体で美しく強固な「長者の結晶」を文化祭という最後の行事で、集大成として「魅せる（見せる）」という強い思いが込められています。前日祭と本番ではそうした思いを、演奏や演劇、ダンスやコントなど様々なかたちで表現してくれました。

文化祭を通じて、一人一人がキラリと光る個性を発揮し、それを結集して、光り輝く「長者の結晶」を創り上げることができました。今年の文化祭も全員の力で成功させることができました。

閉祭式の講評でお話したことを、以下に載せます。

文化祭週間の準備活動から昨日の前日祭、今日の本番と、皆さんお疲れさまでした。

展示作品は、学年展示、2の5展示、教科展示、総合文化部展示と、どれも時間をかけて制作してきたことや創意工夫が感じられて、とてもすばらしかったです。

ステージ発表はどれもすばらしかったのですが、特に印象に残ったものをお話します。

吹奏楽部の演奏は様々なレパートリーで、会場と一体となって盛り上げて楽しむことができました。盛り上げるだけでなく、しっとり聴かせるところもあってすばらしかったです。

3年生の「ライオンキング」はさすがの一言でした。昨年劇も上手だったのですが、今年はさらにすばらしかったです。約1時間、見事な演技を披露して感動させてくれました。

全体として、一人一人の活躍が集まって、光り輝く「長者中の結晶」を表現することができました。今年も、文化祭成功という新たな長者中の歴史を創り上げることができました。

